

愛らしき鳥

(I love my love) Music by C. Pinsuti.
Words by S. Kendow.

Piano introduction in 2/4 time, featuring a melody in the right hand and accompaniment in the left hand.

1. ミヨハハルゾートレラスタノニ
2. みよはなつぞーとしらすために

Piano accompaniment for the first vocal line, in 2/4 time.

トホキミヤマーノフルスイデテナ
とほきみヤマーのふるすいでしほ

Piano accompaniment for the second vocal line, in 2/4 time.

クウグヒスよクチャタルノキバハヒ
ととぎすよかどべのたちばな

Piano accompaniment for the third vocal line, in 2/4 time.

△音楽新樂譜は「唱歌新樂譜」の兄弟雑誌にて代價は「唱歌新樂譜」と同じく二月十二錢の割一年七十錢東京神田三崎町音楽社發行

トモトハズーアシタモユフヘモイ
よくかをりーかきれのうのはなつ

トドシツカトヒキテウタへ
きにほふとひきてなのれ

ヤニニニフ
サチアルココノヨノヒトトセナレドモ
さちあるこのよのひととせなれども

タタビキ タラン ハルツヤハア
 た た び き た ら ん は ル ツ ヤ は ア
 る べ き そ の こ え た え ー せ ず う た ー へ や う ぐ ひ
 ス

愛らしき鳥

一、御代は春ぞと知らす爲めに、遠き深山の古巢出でて啼く鶯、
 朽ちたる軒端は人も訪はず、朝も夕べもいと静か、訪ひ
 来て歌へや。幸福ある此の代の一年なれども、再び来らん
 春やはあるべき。其の聲絶えせず歌へや鶯。

二、御代は夏ぞと知らす爲めに、遠き深山の古巢出でし時鳥よ、
 門邊の橘清く薫り、垣根の卵の花日に匂ふ。訪ひ来て名乗
 れや。幸福ある此の代の一年なれども、再び来らん夏やは
 あるべき。其の聲絶えせず名乗れ時鳥。

(備考)

○聲絶えず鳴けや鶯一年に再びとだに來べき春かは……(古今集)